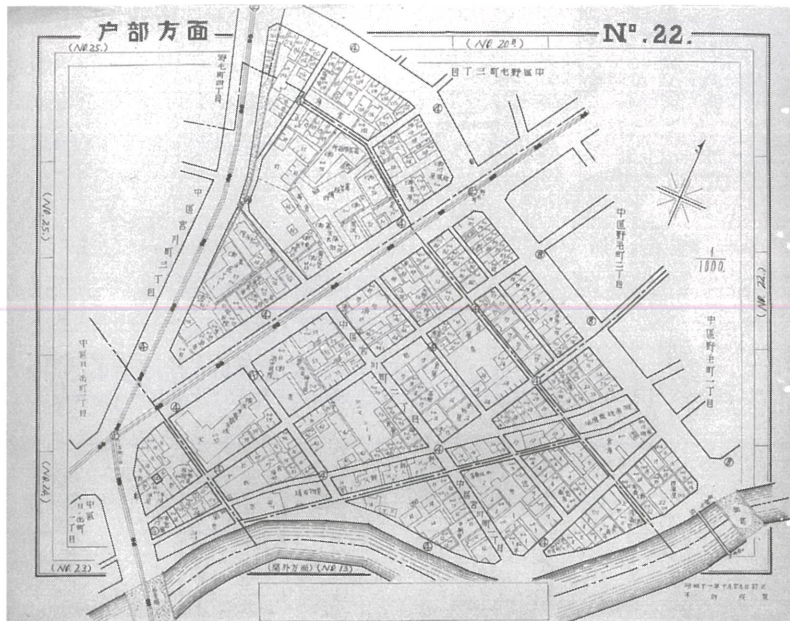


市史通信

【目次】

- 昭和初期、中区火災保険図Ⅱ
～野毛山周辺の紹介～
- 一九三〇年代県立横浜第一
高等女学校の卒業生と同窓生
- 大正・昭和はじめの地図の旅
～安室吉弥家資料より～
- 所蔵資料紹介
『昭和の中村』第六号
- 市史資料室たより



『中区火災保険図 戸部方面No.22』1936年10月29日訂正

野毛町・宮川町付近。図下部の左右に走る2本の道路に挟まれた帯状の地域は鉄道用地として確保されていた。

第51号

【発行日】2024年11月29日
【編集・発行】横浜市史資料室
〒220-0032
横浜市西区老松町1番地
横浜中央図書館・地下1階
【電話】045-251-3260
【FAX】045-251-7321
【E-mail】
sisiriyu@ml.city.yokohama.jp
【ホームページ】
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishiryu/>

表1 「中区火災保険図」 戸部方面年別一覧

図番号	1930年	1932年	1935年	1936年	図番号	1930年	1932年	1935年	1936年
No.1	○		○		No.20A	○			○
No.2	○				No.20B	○	○		○
No.3	○		○		No.21	○			○
No.4	○		○		No.22	○	○		○
No.5	○		○		No.23	○			○
No.6	○				No.24	○		○	○
No.7	○				No.25	○		○	○
No.8	○	○			No.26	○		○	○
No.9	○				No.27	○		○	○
No.10A	○	○			No.28	○		○	○
No.10B	○				No.29	○		○	○
No.11	○				No.30	○		○	○
No.12A	○				No.31	○		○	○
No.12B	○				No.32	○		○	○
No.13	○				No.33	○		○	○
No.14	○	○			No.34	○		○	○
No.15	○	○			No.35	○	○		○
No.16	○		○		追加A	○			
No.17	○		○		追加B	○			
No.18	○		○		追加C	○			
No.19	○		○		追加D	○			

昭和初期、中区火災 保険図Ⅱ

～野毛山周辺の紹介～

市史資料室所蔵「中区火災保険図」は、既に本誌第一八号「昭和初期、中区火災保険図」で概要を紹介するとともに、関内地区について一九三〇（昭和五）年図を集成し耐火建物を概観した。

ここでは同様に一九三〇年の野毛山周辺図を集成し概観していく。野毛山周辺が含まれる「戸部方面」は表1にあるように、一九三〇（昭和五）年作製分には欠がなく、全域をカバーできる。このうち「野毛山周辺」として便宜

的にNo.11～35（12と20はA・Bがある）、追加A～Cの三〇枚を集成した。これは、大岡川と現在のJR線を境とし、「戸部方面」から現在の西区役所周辺を除いた地域である（それぞれの番号の範囲は本誌第一八号の図5を参照）。

なお一九三一（昭和七）年図は「再調」と書かれたものがほとんどで、枠外に「横浜新興地図協会」とある。この地域では三一年の京急開通が大きな変化で、8、10A、14、15、23、35に三二年図がある。一方で16、24、25は京急が通っているが三二年図がなく、京急線が通っていない20Bに三二年作製図が存在する。一九三五年・三六年図は、三五年七月の町界町名字界字名変更への対応であった。

この「野毛山周辺」は、大岡川沿いと現在は埋め立てられている桜川沿いの平地と野毛山や掃部山等の丘陵地から構成されている。

丘陵地には、官舎をはじめとする多くの家屋のほか、野毛山公園や掃部山公園などの公園が配置されている。火災



図1 「堤防」記号の例

注：「中区火災保険図」 戸部方面
No.26、1930年。